



2022年5月11日

各 位

会社名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス  
代表者名 代表取締役CEO 吉村 元久  
(コード：2884、東証プライム)  
問合せ先 取締役CFO 安東 俊  
(TEL. 03-6206-1271)

(訂正) 「2021年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2021年4月15日に開示いたしました「2021年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2022年5月11日)付「過年度の決算短信等及び有価証券報告書等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は\_\_\_\_\_線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)



## 2021年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月15日

上場会社名 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 2884 URL http://y-food-h.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 吉村 元久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 安東 俊 TEL 03(6206)1271  
 定時株主総会開催予定日 2021年5月28日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 2021年5月28日  
 決算補足説明資料作成の有無: 有  
 決算説明会開催の有無: 有 (当社ウェブサイトにて、決算説明の動画配信予定)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年2月期の連結業績(2020年3月1日~2021年2月28日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	29,289	△2.0	523	△35.2	787	6.4	417	135.8
2020年2月期	29,875	26.0	808	127.7	740	76.1	177	△32.8

(注) 包括利益 2021年2月期 24百万円 (△94.3%) 2020年2月期 426百万円 (112.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年2月期	18.59	18.42	8.7	3.4	1.8
2020年2月期	8.02	7.86	4.2	3.8	2.7

(参考) 持分法投資損益 2021年2月期 △3百万円 2020年2月期 -百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期	23,150	7,319	23.6	229.93
2020年2月期	23,335	6,135	17.9	188.84

(参考) 自己資本 2021年2月期 5,468百万円 2020年2月期 4,186百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年2月期	2,092	△387	359	4,544
2020年2月期	603	△5,004	4,816	2,495

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2021年2月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2022年2月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

## 3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日~2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,607	4.5	805	53.7	811	3.0	346	△17.0	14.59

## ※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 有

新規 1社 (社名)株式会社香り芽本舗

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更: 無  
 ② ①以外の会計方針の変更: 無  
 ③ 会計上の見積りの変更: 無  
 ④ 修正再表示: 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2021年2月期	23,784,595株	2020年2月期	22,171,795株
2021年2月期	2,323株	2020年2月期	2,323株
2021年2月期	22,485,328株	2020年2月期	22,102,125株

## (参考) 個別業績の概要

1. 2021年2月期の個別業績(2020年3月1日~2021年2月28日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期	556	3.8	57	35.2	136	—	112	—
2020年2月期	536	15.8	42	294.5	△42	—	△44	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期	5.00	4.96
2020年2月期	△2.03	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2021年2月期	15,880	3,534	3,534	2,263	22.3	148.60	102.03	
2020年2月期	14,404	2,263	2,263	—	15.7	—	—	

(参考) 自己資本 2021年2月期 3,534百万円 2020年2月期 2,261百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来情報に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P4「経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(表示方法の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	16

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による緊急事態宣言の発出、外出自粛要請等の影響により、景気が大幅に悪化したため、極めて厳しい状況で推移しました。同宣言解除後は、政府主導の景気対策の効果や、段階的に社会経済活動が再開されたこと等により一時的な回復の兆しが見えたものの、国内の感染者数が再び急激な増加に転じたことを受け、2021年1月には2度目の緊急事態宣言が発出されるなど、感染収束時期が見通せず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内の食品業界は、巣ごもり消費により大手量販店、食品スーパー、ドラッグストア等、小売店向けの需要は安定した一方で、2度の緊急事態宣言発出による飲食店の臨時休業・営業時間短縮や消費者の外出自粛により、外食産業、観光産業向けの需要が大幅に落ち込み、当第4四半期においても、引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境の下で当社グループは、M&Aにより事業の拡大を図るとともに「中小企業支援プラットフォーム」を活用し、傘下企業間のシナジー効果を発揮することで企業価値の向上に努めてまいりました。

その結果、当連結会計年度の業績につきましては、国内事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、産業給食、飲食店および観光産業向けの売上は減少したものの、スーパー等小売店向けの売上が増加したことで、前年を上回る結果となりました。海外事業は、スーパー等小売店向けの売上が増加するとともに、シンガポール国内の消費拡大により飲食店向けの売上が回復する一方で、ホテル、航空関連およびケータリング向けの売上が大幅に減少したため、前年を下回る結果となりました。

その結果、当連結会計年度の業績につきましては、売上高29,289,427千円（前年同期比2.0%減）、営業利益523,930千円（同35.2%減）、経常利益787,861千円（同6.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益417,935千円（同135.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 製造事業

製造事業につきましては、M&Aにより国内および海外事業の拡大を図るとともに、「中小企業支援プラットフォーム」の各機能による支援により、取引先の新規開拓、新商品の開発や生産効率化等の取り組みをおこなってまいりました。こうした中、国内製造子会社は、新型コロナウイルス感染拡大に伴いスーパー小売店の需要が増加したことや株式会社香り芽本舗をグループ化したことで増収増益となる一方、海外製造子会社は、シンガポール及びマレーシアにおける部分的ロックダウンの影響やホテル、航空関連向けの売上が減少したことから減収減益となりました。その結果、売上高は21,706,837千円（前年同期比5.2%増）、利益は607,857千円（同19.8%減）となりました。

#### ② 販売事業

販売事業につきましては、「中小企業支援プラットフォーム」による情報網等を活用し、既存取引先への深耕および企画販売の強化に努めてまいりました。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内販売子会社は主に産業給食向けの売上が減少した一方で生協向けの売上は増加し増益となりました。海外販売子会社はシンガポールにおける部分的ロックダウンの影響やシンガポール国外向けの輸出販売が減少したことで減収減益となりました。その結果、売上高は7,582,590千円（前年同期比17.9%減）、利益は435,666千円（同23.1%減）となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当社グループの当連結会計年度末における総資産は23,150,329千円となり、前連結会計年度末と比較して184,907千円減少しました。

流動資産は14,828,843千円となり、前連結会計年度末と比較して680,752千円増加しました。これは主として、現金及び預金が1,927,121千円増加したこと、およびたな卸資産が669,228千円、受取手形及び売掛金が611,240千円減少したことによるものです。

固定資産は、8,321,486千円となり、前連結会計年度末と比較して865,660千円減少しました。これは主として、のれんが454,076千円、有形固定資産が284,620千円減少したことによるものです。

負債は15,831,218千円となり、前連結会計年度末と比較して1,368,080千円減少しました。これは主として、借入金等が648,704千円、買掛金が292,262千円減少したことによるものです。

純資産は、7,319,111千円となり、前連結会計年度末と比較して1,183,173千円増加しました。これは主として、第三者割当増資により資本金が579,780千円、資本剰余金が579,780千円増加したこと、および利益剰余金が417,935千円増加、為替換算調整勘定が284,590千円減少したことによるものです。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して2,048,734千円増加し、4,544,175千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,092,629千円（前連結会計年度は603,000千円の収入）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益787,421千円、たな卸資産の減少額736,217千円、売上債権の減少額666,225千円、減価償却費491,617千円、のれん償却額325,102千円等の増加要因に対し、法人税等の支払額404,905千円、仕入債務の減少額298,796千円等の減少要因があったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は387,676千円（前連結会計年度は5,004,508千円の使用）となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入143,308千円、連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出348,670千円、有形固定資産の取得による支出183,251千円等があったことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は359,275千円（前連結会計年度は4,816,336千円の収入）となりました。

これは主に、長期借入れによる収入3,530,000千円、株式の発行による収入1,105,380千円等の増加要因に対し、短期借入金の純減少額2,299,449千円、長期借入金の返済による支出1,802,762千円等があったことによるものです。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年 2月期	2018年 2月期	2019年 2月期	2020年 2月期	2021年 2月期
自己資本比率	42.4	38.3	28.3	17.9	23.6
時価ベースの自己資本比率	151.2	332.5	80.3	84.4	90.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	4.6	14.6	26.9	19.5	5.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ	43.1	20.2	14.6	17.9	37.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。

3. キャッシュ・フローは、営業活動キャッシュ・フローを使用しております。

4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の終息時期が見通せないことに加え、まん延防止等重点措置の適用による政府主導の外出自粛要請など、景気の先行きは不透明な状況が続くものと予想されます。

このような中、当社グループは引き続き事業承継等の課題を抱える企業の受け皿となるとともに、当社の中核スキルである「中小企業支援プラットフォーム」により的確な支援をおこなうことで、各社の成長と事業の活性化をおこなってまいります。

国内においては、新型コロナウイルス感染症の影響により外食及び観光向けなど業務用の売上は苦戦が続くと予想されるものの、大部分を占めるスーパー量販店向けなど市販用の売上は引き続き好調に推移する見通しであり、全体では前期の水準を維持するものと見込んでおります。

一方、シンガポールにおいては、スーパーや飲食店向けの売上は安定的に推移する見通しであり、前期苦戦したホテル向けの売上についても、ワクチン接種による人の往来の再開や結婚式・パーティー等の人数制限の緩和により、緩やかに回復に向かうものと想定しておりますが、本格的な回復は新型コロナウイルス感染症の終息次第であり、引き続き流動的に推移するものと見込んでおります。

以上により、2022年2月期の連結業績予想につきましては、売上高30,607百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益805百万円（前年同期比53.7%増）、経常利益811百万円（前年同期比3.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益346百万円（前年同期比17.0%減）を見込んでおります。

なお、今後の政府による規制の内容や新型コロナウイルス感染症の終息時期等によっては、当社の業績が変動する可能性があり、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

また、当社は、常時中小食品企業のM&Aを検討しておりますが、これらにつきましては、計画に見込んでおりません。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,015,143	4,942,264
受取手形及び売掛金	5,585,039	4,973,798
商品及び製品	4,459,138	3,444,076
原材料及び貯蔵品	891,189	1,237,022
その他	230,474	298,926
貸倒引当金	<u>△32,894</u>	<u>△67,246</u>
流動資産合計	<u>14,148,090</u>	<u>14,828,843</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,210,686	4,052,245
減価償却累計額	<u>△2,619,963</u>	<u>△2,696,447</u>
建物及び構築物(純額)	<u>1,590,723</u>	<u>1,355,798</u>
機械装置及び運搬具	3,459,517	3,439,412
減価償却累計額	<u>△2,534,476</u>	<u>△2,640,461</u>
機械装置及び運搬具(純額)	<u>925,041</u>	<u>798,951</u>
土地	1,205,223	1,191,880
リース資産	238,981	648,016
減価償却累計額	<u>△43,575</u>	<u>△225,560</u>
リース資産(純額)	<u>195,405</u>	<u>422,455</u>
その他	588,858	399,576
減価償却累計額	<u>△376,982</u>	<u>△325,012</u>
その他(純額)	<u>211,875</u>	<u>74,563</u>
有形固定資産合計	<u>4,128,269</u>	<u>3,843,649</u>
無形固定資産		
のれん	<u>4,113,275</u>	<u>3,659,199</u>
その他	139,135	103,189
無形固定資産合計	<u>4,252,411</u>	<u>3,762,389</u>
投資その他の資産		
繰延税金資産	428,271	357,283
その他	<u>398,560</u>	<u>378,358</u>
貸倒引当金	<u>△20,366</u>	<u>△20,194</u>
投資その他の資産合計	<u>806,465</u>	<u>715,448</u>
固定資産合計	<u>9,187,146</u>	<u>8,321,486</u>
資産合計	<u>23,335,237</u>	<u>23,150,329</u>



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当連結会計年度 (2021年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,757,557	2,465,294
短期借入金	3,039,881	718,940
1年内償還予定の社債	55,000	—
1年内返済予定の長期借入金	1,513,890	1,739,304
未払金	637,904	661,244
未払法人税等	342,690	309,486
未払消費税等	151,327	110,442
賞与引当金	155,062	138,693
その他	1,096,268	866,131
流動負債合計	9,749,583	7,009,537
固定負債		
長期借入金	7,119,277	8,621,101
退職給付に係る負債	13,097	12,981
その他	317,339	187,598
固定負債合計	7,449,715	8,821,680
負債合計	17,199,299	15,831,218
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	527,841	1,107,621
資本剰余金	1,379,734	1,959,514
利益剰余金	2,216,063	2,633,999
自己株式	△759	△759
株主資本合計	4,122,879	5,700,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,396	△7,694
為替換算調整勘定	60,248	△224,341
その他の包括利益累計額合計	63,645	△232,036
新株予約権	1,212	546
非支配株主持分	1,948,200	1,850,225
純資産合計	6,135,938	7,319,111
負債純資産合計	23,335,237	23,150,329

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
売上高	29,875,734	29,289,427
売上原価	23,850,434	23,079,914
売上総利益	6,025,300	6,209,512
販売費及び一般管理費		
運搬費	1,753,990	1,786,630
給料及び手当	971,942	1,201,837
貸倒引当金繰入額	311	45,180
その他	2,490,718	2,651,933
販売費及び一般管理費合計	5,216,962	5,685,581
営業利益	808,338	523,930
営業外収益		
受取利息	1,674	11,109
受取配当金	1,661	1,289
受取賃貸料	25,286	30,174
補助金収入	9,958	204,767
受取補償金	26,846	16,381
為替差益	—	32,164
その他	13,917	37,085
営業外収益合計	79,346	332,972
営業外費用		
支払利息	33,529	51,593
為替差損	108,338	—
その他	5,659	17,449
営業外費用合計	147,526	69,042
経常利益	740,157	787,861
特別利益		
固定資産売却益	392	2,932
特別利益合計	392	2,932
特別損失		
固定資産除却損	21,627	3,372
固定資産売却損	29	—
特別損失合計	21,657	3,372
税金等調整前当期純利益	718,892	787,421
法人税、住民税及び事業税	308,737	348,431
法人税等調整額	98,416	33,710
法人税等合計	407,153	382,141
当期純利益	311,739	405,280
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	134,525	△12,655
親会社株主に帰属する当期純利益	177,214	417,935

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
当期純利益	311,739	<u>405,280</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,342	△11,091
為替換算調整勘定	116,673	<u>△371,082</u>
持分法適用会社に対する持分相当額	—	<u>1,172</u>
その他の包括利益合計	<u>114,330</u>	<u>△381,001</u>
包括利益	<u>426,070</u>	<u>24,278</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	281,400	<u>122,254</u>
非支配株主に係る包括利益	144,669	<u>△97,975</u>

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	503,434	1,811,102	2,038,849	△654	4,352,731	5,739	△67,234	△61,494	1,560	302,829	4,595,625
当期変動額											
新株の発行					-			-			-
新株の発行 (新株予約権の行使)	24,407	24,407			48,815			-			48,815
親会社株主に帰属する 当期純利益			177,214		177,214			-			177,214
自己株式の取得				△104	△104			-			△104
連結子会社の増資による 持分の増減		383,191			383,191			-			383,191
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動		△838,967			△838,967			-			△838,967
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					-	△2,342	127,483	125,140	△348	1,645,371	1,770,164
当期変動額合計	24,407	△431,368	177,214	△104	△229,851	△2,342	127,483	125,140	△348	1,645,371	1,540,312
当期末残高	527,841	1,379,734	2,216,063	△759	4,122,879	3,396	60,248	63,645	1,212	1,948,200	6,135,938

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	527,841	1,379,734	2,216,063	△759	4,122,879	3,396	60,248	63,645	1,212	1,948,200	6,135,938
当期変動額											
新株の発行	552,690	552,690			1,105,380			-			1,105,380
新株の発行 (新株予約権の行使)	27,090	27,090			54,180			-			54,180
親会社株主に帰属する 当期純利益			417,935		417,935			-			417,935
自己株式の取得					-			-			-
連結子会社の増資による 持分の増減					-			-			-
非支配株主との取引に係る 親会社の持分変動					-			-			-
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					-	△11,091	△284,590	△295,681	△666	△97,975	△394,323
当期変動額合計	579,780	579,780	417,935	-	1,577,496	△11,091	△284,590	△295,681	△666	△97,975	1,183,173
当期末残高	1,107,621	1,959,514	2,633,999	△759	5,700,376	△7,694	△224,341	△232,036	546	1,850,225	7,319,111

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	718,892	787,421
減価償却費	427,625	491,617
のれん償却額	304,004	325,102
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△16,849	35,111
賞与引当金の増減額 (△は減少)	13,840	△24,436
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△763	△24,148
受取利息及び受取配当金	△3,336	△12,399
支払利息	33,529	51,593
固定資産売却損益 (△は益)	△363	△2,932
固定資産除却損	21,627	3,372
売上債権の増減額 (△は増加)	△556,312	666,225
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△394,429	736,217
仕入債務の増減額 (△は減少)	△72,525	△298,796
未払金の増減額 (△は減少)	107,953	△32,284
未払費用の増減額 (△は減少)	144,466	△46,777
未払消費税等の増減額 (△は減少)	37,259	△39,122
その他	52,737	△75,227
小計	817,356	2,540,534
利息及び配当金の受取額	3,336	12,399
利息の支払額	△33,726	△55,398
法人税等の支払額	△183,966	△404,905
営業活動によるキャッシュ・フロー	603,000	2,092,629
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△560,811	△183,251
有形固定資産の売却による収入	1,621	3,950
無形固定資産の取得による支出	△95,040	△2,555
投資有価証券の取得による支出	△1,548	△1,576
定期預金の払戻による収入	—	143,308
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△4,347,098	△348,670
その他	△1,630	1,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,004,508	△387,676
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	193,249	△2,299,449
長期借入れによる収入	6,060,510	3,530,000
長期借入金の返済による支出	△1,388,355	△1,802,762
社債の償還による支出	△10,000	△55,000
リース債務の返済による支出	△87,429	△163,765
株式の発行による収入	—	1,105,380
新株予約権の行使による株式の発行による収入	48,467	53,514
その他	△104	△8,641
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,816,336	359,275
現金及び現金同等物に係る換算差額	8,091	△15,493
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	422,919	2,048,734
現金及び現金同等物の期首残高	2,072,520	2,495,440
現金及び現金同等物の期末残高	2,495,440	4,544,175

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「補助金収入」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記しています。

この結果、前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に表示していた23,876千円は、「補助金収入」9,958千円、「その他」13,917千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報の入手が可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、「製造事業」、「販売事業」を中核事業と位置付けており、それぞれを報告セグメントとしております。「製造事業」は、樂陽食品株式会社、株式会社オープン、白石興産株式会社、株式会社桜顔酒造、株式会社ダイショウ、株式会社雄北水産、純和食品株式会社、株式会社エスケーフーズ、栄川酒造株式会社、株式会社ヤマニ野口水産、JSTT SINGAPORE PTE. LTD.、株式会社おむすびころりん本舗、株式会社まるかわ食品、YFHD CAMBODIA CO., LTD.、PACIFIC SORBY PTE. LTD.、株式会社森養魚場、NKR CONTINENTAL PTE. LTD.、CONTINENTAL EQUIPMENT PTE. LTD.、NKR CONTINENTAL (M) SDN. BHD.、NKR CONTINENTAL MANUFACTURING SDN. BHD.、株式会社香り芽本舗が、「販売事業」は、株式会社ヨシムラ・フード、株式会社ジョイ・ダイニング・プロダクツ、SIN HIN FROZEN FOOD PRIVATE LIMITEDが担っており、各社において事業戦略の立案および事業活動の展開を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であり、セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	連結財務諸表計上額(注)2
	製造事業	販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,639,352	9,236,381	29,875,734	—	29,875,734
セグメント間の内部売上高 又は振替高	370,851	359,403	730,254	△730,254	—
計	21,010,204	9,595,785	30,605,989	△730,254	29,875,734
セグメント利益	758,306	566,434	1,324,740	△516,402	808,338
セグメント資産	9,040,529	1,735,695	10,776,224	12,559,012	23,335,237
セグメント負債	6,960,300	1,567,823	8,528,123	8,671,175	17,199,299
その他の項目					
減価償却費	325,243	86,131	411,375	16,250	427,625
のれんの償却額	204,738	99,265	304,004	—	304,004
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	809,885	29,139	839,024	35,661	874,685

(注) 1 (1) セグメント利益の調整額△516,402千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

(2) セグメント資産の調整額12,559,012千円は、各報告セグメントに帰属しない現金及び預金が含まれる全社資産16,862,674千円およびセグメント間取引消去額△4,303,662千円であります。

(3) セグメント負債の調整額8,671,175千円は、各報告セグメントに帰属しない借入金および社債が含まれる全社負債12,974,837千円およびセグメント間取引消去額△4,303,662千円であります。

(4) 減価償却費の調整額16,250千円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額35,661千円は、各報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	連結財務諸表計上額(注)2
	製造事業	販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,706,837	7,582,590	29,289,427	—	29,289,427
セグメント間の内部売上高 又は振替高	428,030	207,504	635,534	△635,534	—
計	22,134,867	7,790,094	29,924,961	△635,534	29,289,427
セグメント利益	607,857	435,666	1,043,523	△519,592	523,930
セグメント資産	8,440,183	1,769,162	10,209,346	12,940,983	23,150,329
セグメント負債	6,443,195	1,466,876	7,910,071	7,921,146	15,831,218
その他の項目					
減価償却費	429,937	46,371	476,308	15,308	491,617
のれんの償却額	228,952	96,149	325,102	—	325,102
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	170,276	844	171,121	1,151	172,272

(注) 1 (1) セグメント利益の調整額△519,592千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

(2) セグメント資産の調整額12,940,983千円は、各報告セグメントに帰属しない現金及び預金が含まれる全社資産16,862,674千円およびセグメント間取引消去額△4,303,662千円であります。

(3) セグメント負債の調整額7,921,146千円は、各報告セグメントに帰属しない借入金および社債が含まれる全社負債12,974,837千円およびセグメント間取引消去額△4,303,662千円であります。

(4) 減価償却費の調整額15,308千円、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,151千円は、各報告セグメントに帰属しない全社資産に係るものであります。

2 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位:千円)

日本	アジア・オセアニア	合計
22,980,025	6,895,708	29,875,734

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位:千円)

日本	アジア・オセアニア	合計
2,849,377	1,278,892	4,128,269

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。



当連結会計年度（自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア・オセアニア	合計
23,165,502	6,123,924	29,289,427

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	アジア・オセアニア	合計
2,693,146	1,150,502	3,843,649

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年3月1日 至 2020年2月29日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	製造事業	販売事業	計		
当期償却額	204,738	99,265	304,004	—	304,004
当期末残高	<u>2,728,890</u>	1,384,385	<u>4,113,275</u>	—	<u>4,113,275</u>

当連結会計年度（自 2020年3月1日 至 2021年2月28日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	製造事業	販売事業	計		
当期償却額	<u>228,952</u>	96,149	<u>325,102</u>	—	<u>325,102</u>
当期末残高	<u>2,423,950</u>	1,235,248	<u>3,659,199</u>	—	<u>3,659,199</u>

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
1株当たり純資産額	188.84円	229.93円
1株当たり当期純利益金額	8.02円	18.59円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	7.86円	18.42円

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年3月1日 至 2020年2月29日)	当連結会計年度 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する 当期純利益金額(千円)	177,214	417,935
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(千円)	177,214	417,935
普通株式の期中平均株式数(株)	22,102,125	22,485,328
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する 当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	436,056	205,707
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった 潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。